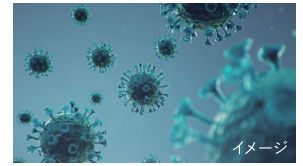




オゾン発生器から放出する低濃度オゾンエアにより 空気中のウイルスを不活化しています。

人に安全なオゾンガス[0.1ppm]を噴霧する事で、新型コロナウイルスを一定の条件下で不活化することが可能です



低濃度オゾンガス曝露による新型コロナウイルスの不活化実験

藤田医科大学医学部 ウイルス・寄生虫学 教授 村田 貴之

試験概要

0.1ppm/湿度80% の湿度が高い環境下で、オゾン0.1ppm、CT値を0,24,42,60に設定し新型コロナウイルスの不活化実験を行いました。

試験結果

0.1ppm/湿度75~90%環境下で、ウイルスカ価がCT24ではおよそ27%CT42ではおよそ13%、CT60ではおよそ4.6%にまで減少していました。

